

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2008年4月28日~5月9日)

発表日: 2008年4月25日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(4月28日~5月9日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
4月28日(月)	8:50 3月商業販売統計 小売業販売額(前年比)	+1.1%	+1.0%	+0.5%~+2.2%	+3.2%
4月29日(火)	昭和の日				
4月30日(水)	8:30 3月労働力調査 完全失業率	3.9%	3.9%	3.8%~4.0%	3.9%
	8:30 3月一般職業紹介状況 有効求人倍率	0.97倍	0.97倍	0.96倍~0.98倍	0.97倍
	8:30 3月家計調査(農林漁家世帯を含む) 実質消費支出・全世帯(前年比)	+0.4%	+0.5%	▲1.5%~+1.6%	0.0%
	実質消費支出・勤労者世帯(前年比)	—	—	—	+1.4%
	8:50 3月鉱工業生産指数 (前月比)	▲0.9%	▲0.8%	▲1.6%~0.0%	+1.6%
	(前年比)	+1.9%	+2.0%	▲1.8%~+3.8%	+5.1%
	14:00 3月住宅着工統計 新設住宅着工戸数(前年比)	▲6.9%	▲6.7%	▲10.6%~▲2.7%	▲5.0%
	(季節値年率)	120.0万戸	120.1万戸	115.0万戸~121.7万戸	115.0万戸
	15:00 4月日銀展望レポート				
	15:30 日銀総裁定例記者会見 金融政策決定会合				
5月1日(木)	10:30 3月毎月勤労統計 名目賃金(前年比)	—	—	—	+1.5%
	14:00 4月新車販売台数 乗用車(前年比)	—	—	—	▲1.4%
	軽乗用車(前年比)	—	—	—	▲9.1%
5月2日(金)	8:50 4月マネタリーベース(前年比)	—	—	—	0.0%
5月5日(月)	こどもの日				
5月6日(火)	振替休日				
5月7日(水)					
5月8日(木)					
5月9日(金)	14:00 3月家計消費状況調査				
	14:00 3月景気動向指数 DI一致指数	—	—	—	70.0%
	DI先行指数	—	—	—	54.5%

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

【注目ポイント】

来週は、重要指標・イベントが集中する。そのなかでも最も注目されるのが4月30日公表の日銀展望レポートだろう。既に4月の金融経済月報で景気判断の下方修正を行っており、展望レポートでもそれと合わせた形で標準シナリオが下方修正されるとみられる。08年度の成長率見通しは1%台半ばに下方修正、一方で消費者物価は上方修正されると予想される。下振れリスクをどの程度強調するかも注目される。

経済指標では、3月鉱工業生産が重要。コンセンサスは前月比▲0.8%となっている。3月の予測指数は前月比+0.3%だが、それを下回るだろう。もっとも、仮にコンセンサス程度の落ち込みにとどまれば、1-3月期の生産は前期比+0.1%になる。横ばい圏にまで減速していることは確かだが、落ち込んでいるわけではないという判断になるだろう。なお、鉱工業指数の基準改定によって足元の生産指数が上方修正されたことで、景気が昨年後半に既にピークをつけているという見方はやや後退したが、かといって先行きについて楽観できる状況でもない。依然として先行き不透明感は強く、その意味でも4、5月の予測指数(特に5

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

月)が注目される。5月が弱いようであれば再び生産ピークアウト説が浮上すると思われるが、逆に強めであれば、景気後退観測が後退するだろう。4、5月はゴールデンウィークがあり季節調整が難しいことには注意が必要だが、先行きを予想する上で重要である。

そのほか、3月分の経済指標がほぼ出揃うことにより、4月30日頃に民間調査機関が1-3月期のGDP予測を公表する見込み。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

【重要指標の当社予測とコメント】

3月小売業販売額（前年比） 当社予想：前年比 +1.1% 中央値：同 +1.0%

3月の小売業販売額は前年比+1.1%と予測する。百貨店売上高は前年比▲1.2%と下がる年要因の剥落により再びマイナスの伸びとなった。自動車販売についても前年を下回るなど、3月の小売関連の業界統計は弱めの結果が多かった。食料品価格の上昇および石油製品価格が高止まりしていること、軟調な株価などから消費マインドも引き続き低水準であり、当面の個人消費は緩やかな増加に留まると予想する。(副主任エコノミスト：柵山順子)

3月完全失業率／有効求人倍率 当社予想：3.9%／0.97倍 中央値：3.9%／0.97倍

3月の失業率は前月から横ばいの3.9%を予想する。原材料価格の高騰、円高の進展などを背景に企業収益は弱含んでいる。2月の雇用者数も減少しており、雇用環境の悪化が懸念されている。ただし、4月1日に発表された3月の日銀短観において企業の人手不足感が依然として強いことが確認されたことに加え、景気の減速も限定的なものに留まっていることから、雇用需要が足元で急速に弱まっているとは考えにくい。このことから、雇用も伸びは鈍化するものの、回復基調を維持すると考えられる。(エコノミスト：中本泰輔)

3月家計調査（農林漁家世帯を含む） 当社予想：前年比 +0.4% 中央値：同 +0.5%

3月の実質消費支出は前月比▲0.3%、前年比+0.4%を予測する。雇用・所得環境の回復に足踏み感がみられるも、石油製品や食料品価格の上昇が続くなど、消費を取り巻く環境は引き続き厳しい。消費者マインドが低水準で推移するなど、家計の購買意欲も低下が続いているとみられ、個人消費は回復感に乏しい状況が続くと予想する。ただし、1-3月期の個人消費（GDPベース）は、1月が高い伸びとなったことやうる年による押し上げもあり、高い伸びとなる公算が大きい。(副主任エコノミスト：柵山順子)

3月鉱工業生産指数（前月比） 当社予想：前月比 ▲0.9% 中央値：同 ▲0.8%

前月比▲0.9%と、2月の同+1.6%からの反動減を予想する。3月単月ではマイナスだが、1-3月期で均せば横ばい圏内で着地するとみられる。4、5月の予測指数が注目される。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

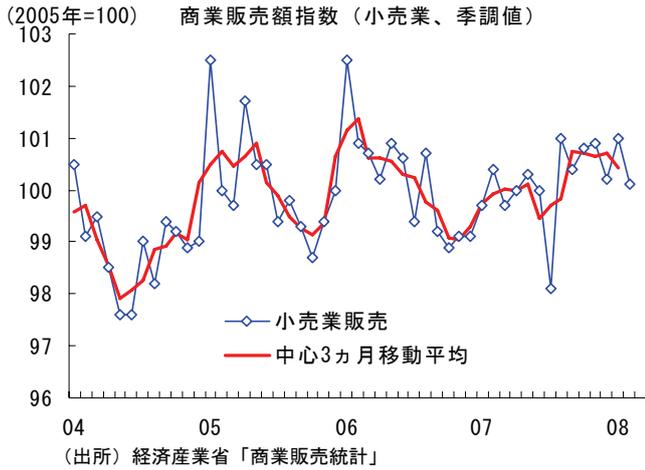
3月新設住宅着工戸数（前年比） 当社予想：前年比 ▲6.9% 中央値：同 ▲6.7%

120万戸を予想（季節調整済年率換算値）。2月の新設住宅着工戸数は115.0万戸と、1月の118.7万戸から足踏みしていたが、あくまで改善傾向のなかでの一服だったと思われる。緩やかな改善傾向が持続したと予想する。着工件数のほか、建築確認件数・申請件数や、設備投資の動向をみる上で民間非居住用の建築着工床面積にも注目。

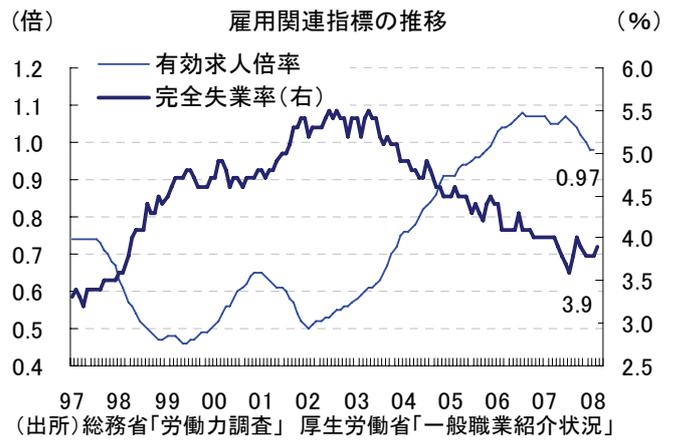
(主任エコノミスト：新家 義貴)

以上

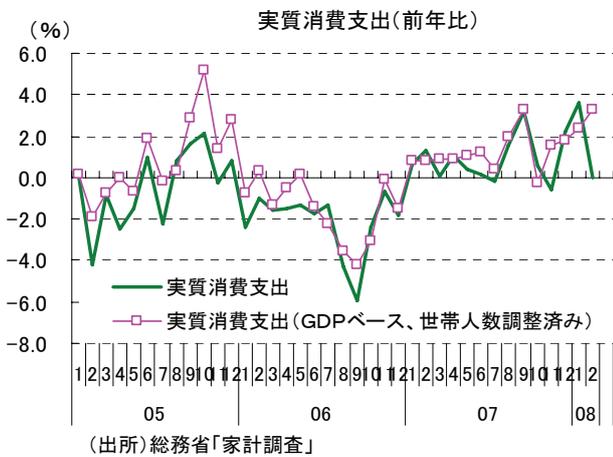
図表 1



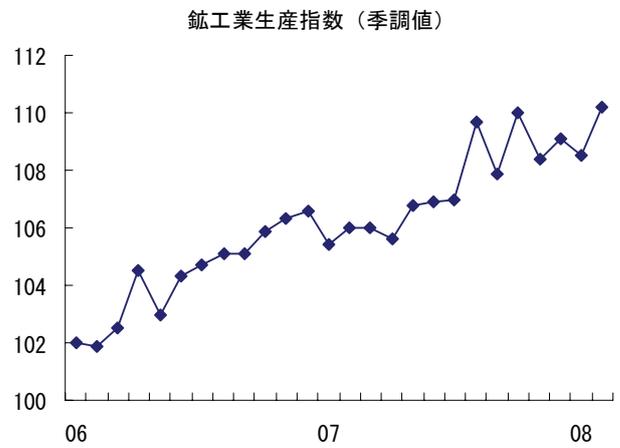
図表 2



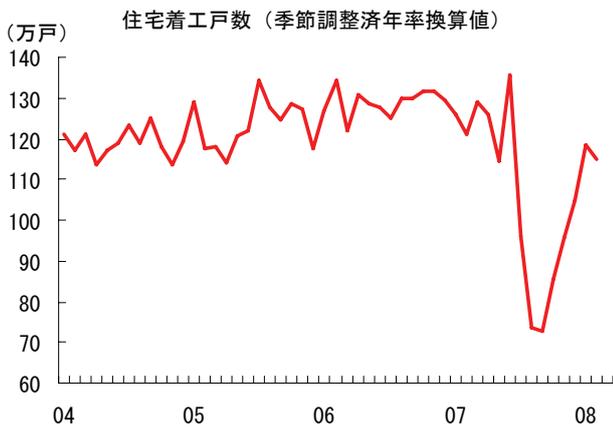
図表 3



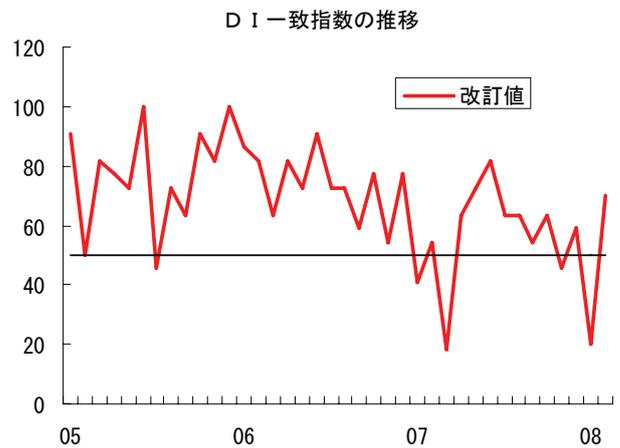
図表 4



図表 5



図表 6



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

5月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
4/28 3月商業販売統計(8:50) ※(ベトナム)4月貿易統計	29 (米)4月CB消費者信頼感指数 (香港)3月小売売上高 (ニュージーランド)3月貿易統計	30 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 3月家計調査(8:30) 3月鉱工業指数(8:50) 3月住宅着工統計(14:00) 4月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 (米)1-3月期実質GDP(速報値) (米)1-3月期雇用コスト指数 (米)4月シカゴPMI (欧)4月消費者物価(速) (米)FOMC	5/1 3月毎月勤労統計(10:30) 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00) (米)3月個人所得・消費 (米)3月建設支出 (米)3月PCEデフレーター (米)4月ISM製造業指数 (米)4月自動車販売	2 4月マナタリーベース(8:50) (米)4月雇用統計 (米)3月製造業受注 (欧)4月製造業PMI(確定値)
5 (米)4月ISM非製造業指数 (タイ)4月消費者物価	6 (欧)4月サービス業PMI(確定値) (欧)3月生産者物価	7 (米)3月中古住宅販売保留 (米)3月消費者信用残高 (欧)3月小売売上高 (仏)3月貿易統計	8 10年利付国債 (米)3月卸売在庫 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	9 3月家計消費状況調査(14:00) 3月景気動向指数(14:00) (米)3月貿易収支 (仏)3月鉱工業生産 (中)4月生産者物価
12 4月マネーサプライ(8:50) 4月貸出・資金吸収(8:50) 4月景気ウォッチャー調査(14:00) (米)4月財政収支 (中)4月消費者物価 ※(中)4月貿易統計 (印)3月鉱工業生産	13 40年利付国債 (米)4月輸入物価 (米)4月小売売上高 (米)3月企業在庫 (中)4月小売売上高	14 4月企業物価(8:50) 3月国際収支(8:50) 3月特定サービス産業動態統計調査(13:30) (米)4月消費者物価 (欧)3月鉱工業生産 (仏)4月消費者物価 (中)4月鉱工業生産	15 3月機械受注統計(8:50) 5年利付国債 (米)5月NY連銀製造業指数 (米)5月フィラ連銀指数 (米)3月対米証券投資 (米)4月鉱工業生産 (米)5月NAHB住宅市場指数 (欧)1-3月期実質GDP(速報) (独)1-3月期実質GDP(速報) (仏)1-3月期実質GDP(速報) (欧)4月消費者物価(確) (中)4月固定資産投資	16 1-3月期GDP1次速報(8:50) 4月投入・産出物価指数(8:50) 3月毎月勤労統計・確(10:30) 3月鉱工業指数・確(13:30) 3月商業販売統計・確(13:30) 4月消費動向調査(14:00) 3月建設総合統計(14:00) ※4月全国百貨店売上高(14:30) (米)4月住宅着工件数 (米)4月建設許可件数 (米)5月ミシガン大消費者センチ(速) (シンガポール)4月貿易統計 (香港)1-3月期GDP
19 5月ロイター短観(8:30) 金融政策決定会合(～20日) (米)4月景気先行指標	20 3月第3次産業活動指数(8:50) ※08年3月末市街地価格指数(10:00) 3月景気動向指数改訂(14:00) 5月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 4月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)4月生産者物価 ※(タイ)1-3月期GDP	21 ※4月チェーンストア販売統計(14:00) ※5月月例経済報告 15年変動利付国債 ※(欧)5月製造業PMI(速報値)	22 3月全産業活動指数(8:50) ※4月貿易統計(8:50) ※(ベトナム)5月消費者物価	23 金融政策決定会合議事要旨(4月8・9日分)(8:50) (米)4月中古住宅販売件数 (シンガポール)4月消費者物価
26 ※(ベトナム)5月貿易統計	27 4月企業向けサービス価格指数(8:50) 20年利付国債 (米)5月CB消費者信頼感指数 (米)4月新築住宅販売件数 (独)1-3月期実質GDP(改定)	28 (米)4月耐久財受注	29 4月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)1-3月期実質GDP(改定値) (米)4月求人広告指数	30 4月消費者物価・全(8:30) 5月消費者物価・都(8:30) 4月労働力調査(8:30) 4月一般職業紹介状況(8:30) 4月家計調査(8:30) 4月鉱工業指数(8:50) 4月住宅着工統計(14:00) (米)4月個人所得・消費 (米)4月PCEデフレーター (米)5月ミシガン大消費者センチ(確) (欧)5月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

6月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
6/2 4月毎月勤労統計(10:30) 5月自動車販売(14:00) 5月軽自動車販売(14:00) (米)5月ISM製造業指数 (米)4月建設支出 (欧)5月製造業PMI(確定値)	3 5月マネタリーベース(8:50) 4月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 (米)4月製造業受注 (欧)4月生産者物価 (欧)1-3月期実質GDP(改定)	4 1-3月期法人企業統計(8:50) (米)5月自動車販売 (米)5月ISM非製造業指数 (欧)5月サービス業PMI(確定値) (欧)4月小売売上高	5 10年物価連動国債 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	6 (米)5月雇用統計 (米)4月消費者信用残高
9 5月マネーストック(8:50) 5月貸出・資金吸収(8:50) 4月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 4月景気動向指数(14:00) 5月景気ウオッチャー調査 (米)4月中古住宅販売保留 (米)4月卸売在庫	10 4月機械受注統計(8:50) 5年利付国債 (米)4月貿易収支 (仏)4月鉱工業生産	11 1-3月期GDP2次速報(8:50) 5月企業物価(8:50) 4月国際収支(8:50) (米)ベージュブック (仏)5月消費者物価 ※(中)5月貿易統計 (中)5月生産者物価	12 金融政策決定会合(～13日) (米)5月財政収支 (米)5月輸入物価 (米)5月小売売上高 (米)4月企業在庫 (欧)5月鉱工業生産 (中)5月消費者物価	13 5月投入・産出物価指数(8:50) 4月鉱工業指数・確(13:30) 4月商業販売統計・確(13:30) 5月消費動向調査(14:00) 6月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)5月消費者物価 (米)6月ミシガン消費者センチ(速) (中)5月小売売上高
16 1-3月期資金循環(8:50) 4月建設総合統計(14:00) (米)6月NY連銀製造業指数 (米)4月対米証券投資 (欧)5月消費者物価(確) (中)5月鉱工業生産	17 4月第3次産業活動指数(8:50) 4月毎月勤労統計・確(10:30) ※6月月例経済報告 20年利付国債 (米)6月NAHB住宅市場指数 (米)5月生産者物価 (米)5月住宅着工件数 (米)5月建設許可件数 (米)5月鉱工業生産 (中)5月固定資産投資	18 金融政策決定会合議事要旨(4月30日/5月19・20日分)(8:50) 4月景気動向指数改訂(14:00) ※5月全国百貨店売上高(14:30)	19 6月ロイター短観(8:30) 4月全産業活動指数(8:50) (米)6月フィラ連銀指数 (米)5月景気先行指標	20 5月コンビニエンスストア統計(16:00) ※(欧)6月製造業PMI(速報値)
23 4-6月期法人企業景気予測調査(8:50) ※5月チェーンストア販売統計(14:00)	24 2年利付国債 (米)6月CB消費者信頼感指数	25 ※5月貿易統計(8:50) 5月企業向けサービス価格指数(8:50) (米)5月耐久財受注 (米)5月新築住宅販売件数 (米)FOMC	26 (米)1-3期実質GDP(確定値) (米)5月中古住宅販売件数 (米)5月求人広告指数	27 5月消費者物価・全(8:30) 6月消費者物価・都(8:30) 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月家計調査(8:30) 5月鉱工業指数(8:50) 5月商業販売統計(8:50) (米)5月個人所得・消費 (米)5月PCEデフレーター (仏)1-3月期実質GDP(改)
30 5月住宅着工統計(14:00) (米)6月ミシガン消費者センチ(確) (欧)6月消費者物価(速)	7/1 6月日銀短観(8:50) 5月毎月勤労統計(10:30) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) ※10年利付国債 (米)6月ISM製造業指数 (米)5月建設支出	2 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) (米)6月自動車販売 (米)5月製造業受注 (欧)6月製造業PMI(確定値) (欧)5月生産者物価	3 (米)6月雇用統計 (米)6月ISM非製造業指数 (欧)6月サービス業PMI(確定値) (欧)5月小売売上高 (欧)ECB理事会	4 5月家計消費状況調査(14:00)

(※)印は日時が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。